

研修体系概要

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	合宿	第Ⅲ期	インターン期
目的	いのちの電話の活動、役割の理解、感情への気づきを体験する。	自分の対話の特徴、かかわり方の特徴の自己理解を深める。	①合宿という日常生活から離れた場所で、普段は当たり前になっている自分自身の他者への感じ方や関係の持ち方に気づく。 ②グループの中で「今、ここで」起こっていることに気づく体験をして、「今、ここで」の気持ちにかかわる力を育てる。 ③自分、他者と向き合い自らかかわる体験をすることで、電話のかけ手の今の気持ち、感じ方に真摯に向き合い、共感関係を構築する能力を育てる。	自分の課題を理解し、電話の対応を学ぶ。	いのちの電話相談員の認定を受けた研修生が、いのちの電話相談員としての資質を高め、基本的姿勢を確立する。
研修構成	講義3回 グループ学習7回	講義3回 グループ学習8回		講義5回 グループ学習14回	全体研修会に参加 深夜担当実習1回 グループ学習毎月1回(3回予定)
講義内容	①いのちの電話ーいのち尊しー ②いのちの電話のボランティアとは ③いのちの電話に参加する姿勢の理解と共有	①対話実習への導入 ②死生観 ③心の病といのちの電話		①相談に出る時の実務 ②電話の聴き方、終え方 ③ボランティアの倫理とルール ④危機的状況への対応 ⑤関わりにくい電話への反応	電話相談体験を共有する。